

door

神戸大学 学生広報誌

Vol.01 2024.04

「はじまり」

創刊号



あちこちの卒業生 ①

永吉真衣さん (2019年 経営学部卒)

神戸大学を卒業後、企業や行政、社会貢献活動などさまざまな分野で奮闘する先輩たちを紹介する。第1回目は食品メーカー・カルビーで「じゃがりこ」のマーケティングを担当する永吉真衣さん(28)に登場してもらった。



大好きなお菓子のマーケティングを追い続けて

カルビーを代表するロングセラー商品「じゃがりこ」。永吉さんは2022年からマーケティング本部のじゃがりこチームで、商品企画や販売戦略、SNSやファンサイトの運用を担っている。

「今は『あげりこ』のプロモーションに力を入れています。『あげりこ』というのは、『じゃがりこを人にあげる』という意味のカルビーの造語で、女子高生がパッケージにメッセージを書いて贈り合っていたのがヒントになりました。2023年8月から9月末にかけてパッケージのデザインコンテストを開催し、クリエイターや一般からも4000件以上の応募がありました。その中から選んだ作品4点を、24年度中に商品化する予定です」

子どものころからお菓子好きで、もともとはパティシエになリたかった。専門学校に行くつもりだったが、「高校1年生の夏休みの課題で、どんなお菓子が売れるのかを調べて論文にまとめました。それが賞をもらったことで、マーケティングに興味を持ちました」。その後、両親の勧めもあって、大阪市内の自宅から通える神戸大学経営学部に進んだ。

学生時代は、マーケティングや会計、経営学などを幅広く学ぶ一方、アントレプレナーシップを専門にするゼミに入り、起業も経験する。「フィールドワークを通じ、有馬温泉に遊び場がな

という課題が見つかりました。そこで、事業計画書をつくり、空き店舗に射的場を開設しました。夏休みの1カ月間ですが、すごく繁盛して、かなり利益も出ました」と笑う。

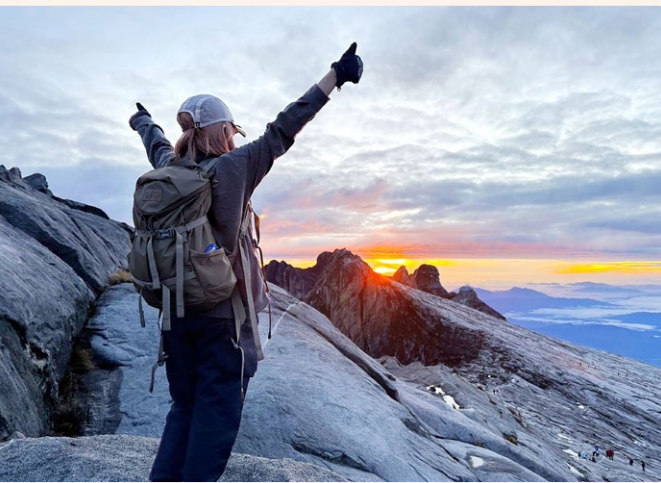
大学では終始一貫、「お菓子のメーカーになるには何かが必要か」を考え、行動した。学生が学部や学科の垣根を越えて学ぶ「道場未来社会創造研究会」(現在のV.School)にも参加し、そこで出会った祇園景子特命助教(現在は准教授)の紹介で、消費者の購買行動などを学ぶために大阪大学の講義にも通った。「私は祇園先生にいろいろ助けてもらったので、学生時代にこの人だったら信頼できるという人に出会えたらいいですよね」という。

就職活動は3年生から開始し、夏休みに食品メーカーやベンチャー企業で短期インターンシップを経験した。「当時、エントリーシートは100社ぐらい出すのが普通でしたが、私は食品メーカー15社ぐらいに絞りました。カルビーは商品企画の職種別採用があり、いろいろな社員の方に会わせてもらって、居心地がよさそうだと思って決めました」。

2019年の入社後は3年間、東京・新宿支店でスーパーなどの営業を担当した。当初1年間はさまざまな部署で研修し、北海道のジャガイモ農場や倉庫での研修も楽しかった。ところが、営業を担当してしばらくすると、コロナ禍が始まる。「在宅勤務でお菓子の需要は増えたため、お客様からの発注に対応しきれず、謝るしかなかったです」と振り返る。

これからの目標は、「マーケティング面からブランド全体を見られる人、ブランドマネジャーになりたいですね」。一方で、週末には洋菓子の専門学校に通い、製菓衛生師の国家資格の取得を目指している。「いつか自分のお店を持てたらいいなと思っています」と、将来の夢を描く。

ながよし まい：1996年大阪生まれ。2014年、神戸大学経営学部入学。2019年に卒業後、カルビー株式会社に入社。研修後は東日本事業本部 首都圏第二支店に配属され、主に東京・神奈川エリアで営業を3年間経験する。現在はマーケティング本部スナック3部じゃがりこチームで商品企画や販売戦略を担当。SNSとファンサイトの運用も行っている。



山頂から日の出を眺める。休日は趣味の登山を楽しむ

上橋勘弥さん（国際人間科学部3年）



この
神大生が
すごい 01

ダンスの世界で 大きな夢に向かって



踊る経験もした。大勢の観客に囲まれて踊るのは初めてで、自分のダンスを熱心に見てくれる人々の姿に心を動かされた。

「テーマパークで踊ったり、サークルで初心者に教えたりすることで、多くのことを学べていると思います。大学に入ってから、表現の方法も技術も進化しました」。表現者として目指すのは、ジャンルにとらわれないオリジナルのダンスだ。特定の分野を専門的に学ばず、独学で歩んできたからこそ、できるのではないかと感じている。

将来の夢は「ダンサーが夢を持ち、ダンスで生きていける社会をつくること」。才能があっても、生活のために踊ることを断念する人がいる現実を変えたいと願う。夢の実現に向けた土台づくりとして、大学時代に取り組みたいと考えているのが、KPOPのダンスコンテストなどのイベント企画。ダンスに関連するSNSの発信にも力を入れたいという。

最近、福山雅治さんの歌「生きてる生きてく」の一節に共感した。

「大きな夢をひとつ持ってた／恥ずかしいくらいバカげた夢を／そしたらなぜか小さな夢が／いつのまにか叶った」

「この歌詞のように、漠然としていても大きな夢を持ち続けたい。そうすれば小さな夢がなっていく。今までの自分を振り返っても、そうだったように思います」

神戸大学には多様な分野の才能を発揮する学生がいる。その一つが音楽や舞踊などの芸術・創作分野で、入学時の選抜にも取り入れられている。国際人間科学部発達コミュニケーション学科の3年生でダンスを専門とする上橋勘弥さん（20）に、大学生活での学びや将来の夢などを聞いた。

発達コミュニケーション学科の入学試験には、総合型選抜の一環として音楽、美術、身体表現の「表現領域受験」がある。入学後は、それぞれの分野で理論と実践を総合的に学ぶ。子どものころからダンスに熱中してきた上橋さんは、「身体表現」の分野を専門的に学ばうと神戸大学を選んだ。

小学校高学年からストリートダンス教室

に通い始めた。きっかけは、タップダンスを

教える母親の勧めだった。「音楽のリズムと自分の動きが交じり合うことが純粋に楽しかった」と振り返る。中学時代も教室に通い、高校時代は学校のダンス部で活動した。入部当初、男子は1人だけ。そんな状況でもまったく気にならず、部員と一緒にダンスを創り上げていく日々は「青春その

ものだった」という。高校1年の終わりごろからはコロナ禍となった。休校が続いた時期は、毎日のように公園で踊った。「好きなダンサーの真似をしたりしながら、ひたすら踊っていました。今思えばそれが成長につながり、受験にも生きたと思います」

大学ではさまざまな分野の授業があるが、やはりダンス関連の科目が楽しい。周囲の学生の表現は十人十色で、多様性に刺激を受ける。サークル活動は、KPOPグループなどのダンスを踊る「KPOP（エトワール）」に所属し、今年から代表を務める。学外では昨年、テーマパークのダンサーとして

うえはし かんや・2003年、尼崎市出身、尼崎福園高校を卒業し、2022年、神戸大学国際人間科学部発達コミュニケーション学科入学。入学前の神戸大学のイメージは堅苦しすぎず、キラキラしすぎず、ちょうどいい感じ」で、入学後も変わらないという。尼崎市在住。

西山慎一 教授



経済学研究科

国際都市神戸で勉学に励む神大生として、常にグローバルマインドを持ち、色々なことにチャレンジして自分の可能性を広げて欲しいと思います。具体的な挑戦としてはぜひ交換留学にチャレンジして欲しいですね。私自身も学生時代に交換留学を経験して、海外大学院進学の道が開かれましたし、自分の人生の可能性が大きく広がったと感じています。神大では様々な交換留学プログラムが用意されていますので、この機会を逃さないようにしてほしいです。

近藤民代 教授



都市安全研究センター

いまの神戸は阪神・淡路大震災の復興を経てつくられたまちです。そのことに気付く努力をしてほしいです。



藤岡一路 特命教授



神戸大学附属病院小児科

私は大学時代勉強についていくことができずに、本当に悩みました。が、周囲の友人たちのサポートでなんとか社会に出て働くことができています。神大の学生は、もともとは阪大や京大志望だった人が多く、結果として学歴を鼻にかけることもないですし、大らかで他人に思いやりをもって接することができるところが本当に良いと感じています。六甲・神戸は学生をやるには抜群の環境です。友人を大事にして、学生生活を精一杯エンジョイしてください。

神大教員のみかた

「新学年、新生活がはじまる学生のみなさんにメッセージをお願いします」

村尾元 教授



国際文化学研究科

楽しんでできることを一つ見つけて、コスバとかタイバとか考えずに、それを一生懸命やって欲しいと思います。すぐじゃないかもしれませんが、必ず自分の力となります。



中真生 教授



人文学研究科

学生のあいだに、自分の考えや、ものごとの見方の枠組みを、根本から揺るがされるような経験ができるとういですね。私の場合は、いろいろな人を知る、旅行をはじめいろいろな場に行く、留学して海外での生活に奮闘する、などがそうだったと思います。そしてその中で、自分がいま見たり経験したりしていることについて、これはどういうことなのだろう？と考え、受け売りではなく、自分自身で理解しようとすることも貴重な経験です。

松尾美和 准教授



経済経営研究所

新年度を迎え、皆さんはどんなことを計画していますか。大学の在学中は、学生という守られた身分が与えられた中で冒険することができる、貴重な期間です。夢に向かって一途に進んできたのに挫折することもあるでしょうし、何気なくとった講義に意外な感動があって、進路変更にまでつながることもあるかもしれません。このはじまりの季節、想像もしなかった未来と出会うことに心を開き、様々な変化を楽しんでほしいと思います。

神戸大学
☆
夢ラボ

ラジオ関西Podcast

この先生の話、もっと聞きたい!と思ったら「神戸大学☆夢ラボ」

神戸大学の先生が、日夜研究している専門分野のお話から未来の地球の話まで熱く語る番組「神戸大学☆夢ラボ」を、ラジオ関西で毎週日曜8時45分～9時に放送中です。先生たちが登場した回はポッドキャストから聞くことができます。



みんなの“失敗”伝言板

新しいことをはじめる時に「失敗」はつきものですね。みなさんが大学生活で経験した「失敗」は何ですか？

ベトナムで消えた洗濯物

学部4年の時にベトナムに旅行に行きました。暖かい地域に住む人はみんな優しい印象でした。ベトナムは建物の前に座って話す人が多いです。ホテルの前にも毎日座って過ごしている人がいました。毎日ホテルを出るときに挨拶をするので、カナダ出身の男性と少し仲良くなるのが出来ました。ある朝、パンツとTシャツが入ったビニール袋を手に、コインランドリーを探していると、彼は「俺が持って行ってやる。明日の朝に渡してやるよ」と言いました。ベトナムの人は優しいなと思って、彼に洗濯物を渡すことにしました。ちょうど翌朝はチェックアウトだと伝えたが、「OKOK。お金は翌朝でいい」と言われました。翌朝、チェックアウトを済ませホテルを出たのですが、そこに彼はいませんでした…。

(システム情報学研究科修士課程1年・I-O DATA)

初「闇鍋」で思い知った
 昨年の秋、部の合宿での出来事です。私の部では秋の合宿の際、夕食は決まって鍋を作って食べます。ただ、昨年の秋はどういう経緯か「闇鍋」を作ることになりました。私はこのとき初闇鍋で、少し不安もあつたのですが、案外食べやすい鍋が出来上がり、皆で楽しみながら食べ始めました。しかし、楽しかったのも束の間、食べ進めるにつれて闇鍋に入れられた「カリカリ梅」と「茎わかめ」の強烈な匂いに食欲が失せ、最後は必死になって食べ切ることになりました。まさか時間差で食材のパンチが効くとは思わず、大変な思いをすることとなりました。闇鍋は奥が深い(?)と思わされた出来事でした。(この一件をうけて、ちょうど美味い闇鍋を作るべく部内に「闇鍋研究会」なるものが出来たみたいですが、現在はどうしているのだろうか…)

(経営学部3年 茎わかめを入れた犯人)

ココアくさいまま商店街を歩いた

雨天時、サンダルでカラオケに部活の個人練をしようと楽器を背負って行きました。フリードリンクを欲張ってココアとウーロン茶を持って階段を登りました。するとサンダルと床の水に滑って階段からひっくり返り頭からココアをかぶってしまいました。ココアくさいまま六甲道の商店街を歩いて帰りました。(保健学研究科修士課程1年・Y)

徹夜の2日後……
 学部1年の時でした。勉強不足だったのですが、徹夜で勉強したおかげでその日のテストは乗り越えました。翌日(テスト最終日)のテストは英語ですが、勉強不足というよりはありませんでした。授業もちゃんと受けていたし、なにより、高校からの知識がまだ頭に深く刻まれているからです。しかし、昨日の徹夜によって、その日の夜は深く長い眠りにつくことになり、ちゃんと寝坊をして来年再履修することになりました。
 (システム情報学研究科修士課程1年バイオエ)



電車で目が覚めたら……

実家暮らし(明石辺り)のエピソードを一つ。部活が終わった後に友達とご飯を食べる等していたら、23時頃になってしまいました。「明日も授業あるしそろそろ帰るか…」と姫路方面のJR(快速)に乗ります。お察しでしょうが疲れもあつて三ノ宮にも着かないうちに寝てしまいました。目が覚めると「ひめじ別所」の文字。1時間以上寝ていたことになり、その衝撃と大阪方面に向かう電車はもうないことを悟り放心状態のまま姫路駅に到着。「何としても帰らなければ!」と思ってタクシーで帰りました。金額は思い出したくありません。実家暮らしの皆さん、適度な揺れには気をつけましょう。
 (経済学部2年サイ)

どんどん増えたパスタ

一人暮らしを始めて間もない頃、私はカルボナーラを作ろうとしました。乾燥パスタを目分量で2人前測りましたが、ちょっと見た感じどうも少ないと思い、1.5倍くらいに増やしました。茹でてみると、パスタは水を吸ってどんどん増えました。また、味付けもあまり上手いきませんでした。その日から3日間、毎食すごく美味しいとは言えないカルボナーラを食べました。

(理学部3年、男子端艇部・空飛ぶボラ)

神大HPがリニューアルしたらしい

新しくなった大学ホームページでは、現役神大生2名を主人公に、それぞれの1日を紹介しています。研究の息抜きに友達と遊びに行ったり、部活やアルバイトもしたりと、神大生は忙しい!

大学ホームページ <https://www.kobe-u.ac.jp/>

story1 ▶ 阪急六甲駅/うりばーロード/自然科学系図書館/システム情報学研究科/理化学研究所/先端融合研究環境総合研究拠点/しおさい公園/カオサンバカ神戸店(※右ページに特典情報)

story2 ▶ 出光佐三記念六甲台講堂/六甲台本館/社会科学系アカデミア館/グラウンド(鶴甲第一キャンパス)/六甲道商店街/ink BOOKS & COFFEE(※右ページにイベント情報)



知っておいて損はない「神戸大学校友会」

神戸大学校友会は卒業生、在学学生、教職員、さらには学生の家族を含めた全学的な組織です。「One KOBE Family」として一体となって結束を強め、神戸大学の研究・教育・国際交流・社会貢献活動を活性化することを目的としています。

校友会の特典は随時更新されるので、HPをチェックしてみましょう！

【特典の一例】六甲高山植物園

- 高山植物園 入園料割引
大人900円 → 800円、小人450円 → 400円
- お土産屋さん「アルピコラ」 → 10%オフ



イベントに参加すると何かがはじまる気がする

[V.School(バリュースクール)]

V.Schoolは、研究科・学部の壁を越え、様々な専門分野の学生と一緒に、新しい価値を生み出す活動や講義を通して学び、自らの専門分野を俯瞰的に理解する場です。ランスポックス横のテニスコートのさらに向こう側にVルームがあります。昨年度人気だった「V.Schoolサロン」「V.Schoolカフェ」は、今年度も木曜5限に開講予定！随時HPをご確認ください。

■V.Schoolオリエンテーション(V.Schoolの紹介、教員紹介、授業説明等)

4月8日(月) 17:00～

■V.School学生によるオリエンテーション

(学生によるV.Schoolの紹介、学生プロジェクトの説明等)

4月10日(水) 17:00～／4月17日(水) 12:20～

■V.Schoolワークショップ(PBL(課題解決型学習)の体験)

4月12日(金) 17:00～／4月26日(金) 17:00～

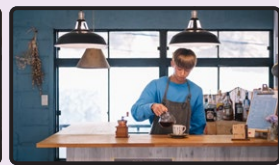
眺望館1階Vルーム／事前予約制(当日参加可)



[Truss]

Trussは神戸大学の留学生が楽しく充実した生活を送ることができるように活動している神戸大学公認の課外活動団体です。イベントを通して留学生とのつながりを作り、親睦を深めるとともに、留学生の日本語学習のサポートも行っています。イベントの情報はInstagramで発信しているので、ぜひ確認してみてください。

[Instagram] @_trusstagram_ [e-mail] truss_kobe@hotmail.com



[ink BOOKS & COFFEE]

学生や地域の人が集い、繋がり、自らのやってみたいことに挑戦できる場所「ink BOOKS & COFFEE」は、学部1回生から大学院生のスタッフたちが試行錯誤しながらカフェバーを運営しています。ぜひ一度遊びに来てください！

[Instagram] @ink_booksandcoffee [e-mail] ink.booksandcoffee@gmail.com
神戸市灘区六甲台町6-20 2F(市バス「神大正門前」徒歩3分)
【営業時間】 金曜 11:00～22:00／土曜 16:00～22:00

15%
OFF



(左) こぐま6個入り (右) スモール ベア エマ、ハートベア カロロ

広報誌「door」創刊号特典！

【CACAO SAMPACA(カカオサンパカ)】

スペイン王室御用達のショコラテリアCACAO SAMPACA神戸店に本誌を持参すると全商品15%OFFに!!

神戸市中央区加納町4丁目2-1-D02 EKIZO神戸三宮1F(阪急「神戸三宮」駅東出口すぐ)【営業時間】平日 10時～21時(金曜・祝祭日前日は23時まで) 土曜 11時～23時 / 日祝 11時～21時 ※イトイン・テイクアウトにはご利用いただけません。※有効期限は2024年5月31日まで。※カカオサンパカ神戸店でのみご利用頂けます。

ATTENTION!